

自立した持続可能な地域社会創造事業「地域づくりセミナーin田上町」

2016年11月8日～9日／会場：田上町コミュニティセンター、他

4回目を迎える「地域

づくりセミナー」を、田上町で開催しました。今年の研修会の講師は、新潟県内で地域づくりの仕掛け人として活躍されている高橋さん、西村さんのお二人をお迎えしました。60名の参加者から積極的な質疑応答が交わされました。

挨拶



資本主義の終焉と叫ばれる昨今、地域が豊かで元気に人々が暮らしていくために、セミナーや助成が少しでも役立ててもらえたらと、江花理事長は語りました。

地元田上町より、丸山教育長から歓迎の言葉とともに、田上町が取り組む地域づくり活動について紹介がなされました。



研修会 県内の地域づくりの仕掛け人から学ぶ

目次:

11月8日(火)13:30～

挨拶

(一財)新潟ろうきん福祉財団
理事長 江花 和郎
田上町教育長
丸山 敬 氏

研修会

- ①地域づくりをデザインする
高橋トオル氏
ツムジグラフィカ 代表
- ②住み開きの古民家「ギルドハウス十日町」の取り組み
西村治久氏
ギルドハウス十日町

成果報告会「地域社会創造助成事業助成団体」

- ①(一社)佐渡地域観光交流ネットワーク
- ②わかとち未来会議
- ③ものずき村
- ④結東集落

交流会

挨拶

(一社)新潟県労働者福祉協議会
専務理事 山田 太郎 氏

アトラクション

田上甚句太鼓

11月9日(水)9:00～

プラタガミ

「デザインとは計画である」という言葉からはじまった高橋トオルさんのお話は、デザイナーという立場からこれまで関わってきた地域づくりの事例もまじえた内容でした。

思い入れの深い活動は、相手に伝えたい！とたくさんの内容を詰め込んでしまうと、読みにくわかりにく、結果として伝わっていないというのが現状です。

チラシづくりやロゴマーク、ウェブサイトなど活動や事業の内容を伝えるときには、自分たちが伝えたいことばかりではなく、相手が知りたいことを整理したうえで発信することが大切と、高橋さんは「越前浜」、「燕三条トライク」、「秋葉小夏」といった事例をもとに説明されました。

埼玉県出身の西村治久さんは、2015年5月に十日町市に移住し、住み開きの古民家「ギルドハウス十日町」を設立されました。山奥の限界集落に1年間で国内・海外から延べ3,000人が訪問しています。

「空き家」「人口減少」「高齢化」といった近年の地域課題に対して、ギルドハウスという取り組みは、古民家を改築しさらにそれを地域に開放することで、デザイナーが訪問したり、地域住民との交流の場になったりしています。

物件探しや、情報発信のコツを西村さんは実体験をもとにお話いただきました。



2015年度地域社会創造助成事業 成果報告会

2013年に創設した「地域社会創造助成事業」は、3年間の応募が可能となっており、今回は2015年度で3年目を迎えた4団体から成果報告を行っていただきました。

◆一般社団法人佐渡地域観光交流ネットワークは、佐渡市内で、観光関係者をはじめとした任意団体として従来の観光資源の再発掘を行い、2014年度に社団法人化し、組織基盤を強化するとともに、交流人口の拡大と雇用機会の創出に取り組んでいます。観光客の興味関心が多様となり、ターゲットを絞った企画づくりや地元住民を中心としたガイド養成など3か年の成果を発表いただきました。

◆わかとち未来会議は、小千谷市で農家民宿や廃校を活用した特産品の開発を行ってきました。この期間、県内の先駆的な取り組みをしている地域を視察したり勉強会を開催するなどしてきましたが、今後の取り組みに課題もあると発表されました。

◆ものずき村は、魚沼市内で、お茶飲み場所と併設した直売所を高齢者が中心となり、運営することで、地域の元気づくりに貢献しています。今年は、新しいコミュニティビジネスとして筐に注目したところ、目的を達成することができ、今後も継続的な取り組みにつなげたいと想いを語っていただきました。

◆結東集落は、津南町で石垣棚田を会場にしたイベントや特産品の開発などを通じて、地域の魅力を発掘・発信しています。米の販路拡大ができたことや交流人口が増加したことなど3か年の成果を発表いただきました。

<http://www.zaidan-hukushi.or.jp>

地域社会創造助成事業に関する助成団体名、金額、事業内容はすべて「ろうきん財団」ウェブサイトから公開されています。

交流会



地元で活動する「田上甚句太鼓保存会」より8名の演者による笛と太鼓の披露がありました。

迫力ある演奏に、参加者から歓声と拍手が沸き起こりアンコール含む4曲も演奏いただきました。

講師、本助成事業選考委員、助成団体の交流が深まり、活動に対する想いを語り合う姿が各テーブルで見られました。

まちあるき「ブラタガミ」

翌日9日は、宿泊先でお世話になった「末廣館」の細井氏と、田上町在住の池井氏よりガイドをいただき、湯田上温泉を15名でまちあるきをしまし

た。昭和初期から中期にかけて、湯田上温泉で撮影された写真をもとに、当時の街並みをたどりながら、地域資源を発掘し保存する取り組み事例を学びました。途中で雨が激しくなったため、すべてまわることができませんでしたが、来年の夏頃開催の「あじさいまつり」に

ぜひ再訪してみたいものです。



(一財)新潟ろうきん福祉財団

新潟市中央区新光町6番地2
勤労福祉会館4階

電話: 025-288-5273

FAX: 025-288-5274

電子メール: info@zaidan-hukushi.or.jp